

チームビルディング実習

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学が連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業を展開しています。

日 時：平成 31 年 4 月 23 日（火）

対 象：スポーツ健康科学科 1 年生（40 名）

講 師：びわこ成蹊スポーツ大学 黒澤 毅 先生

野外体験活動 A S E : Action Socialization Experience（社会性を養うための体験活動）を体験し、スポーツ健康科学科生徒として必要な資質・能力向上の基盤となる「集団への適応能力（人間関係構築）」を高め、「環境への配慮ができる能力」を養うことを目的としてスポーツ健康科学科 1 年生がびわこ成蹊スポーツ大学で「チームビルディング」実習を行いました。



【【離れ小島から落ちないように渡ろう！】】



【切り株の上に 8 人全員乗れるか？】



【エレクトリックフェンス 枝の間に張られた紐に触れずに全員が反対側に移動できるか？最後の一人はどうしよう？】



【この上に上るのか？】

【達成すると この笑顔！

みんなでアイデアを出し合います。
アイデアを出しやすい雰囲気づくり。
大事ですね。】

笑顔は自然にあふれるものですね。】



【丸太から落ちないように生年月日順に並び替え！

【 うわ～！落ちる～！】



【 え！？これ登るんですか？】



【 【よし！みんなで作戦を練ろう！】



【踏ん張りどころだ！みんなを信じろ！
そうだ！俺たちがしっかり支えるぞ！】

【あれえ？真っ暗で何もわからん！？】

【目隠しをしたままで
コミュニケーションをとるにはどうしたらいいかな？】



【もっと！こっちこっち！ 声、ロープの張り具合など様々な情報を総動員して伝えています。】

【画像ではロープが見えにくいですが、全員目隠しをしたままで綺麗な星形を描いています。】



【みんなを信じて倒れ込む！】

【Challenge of Choice !】

みんながアイデアを出し、コミュニケーションを取り合うことで、自分が果たすべき役割をイメージして動くことが大切です。

これから自分が遭遇する様々な場面がありますが、どの道を選ぶのか？どんな方法を選ぶのか？ 選択肢はたくさんあります。